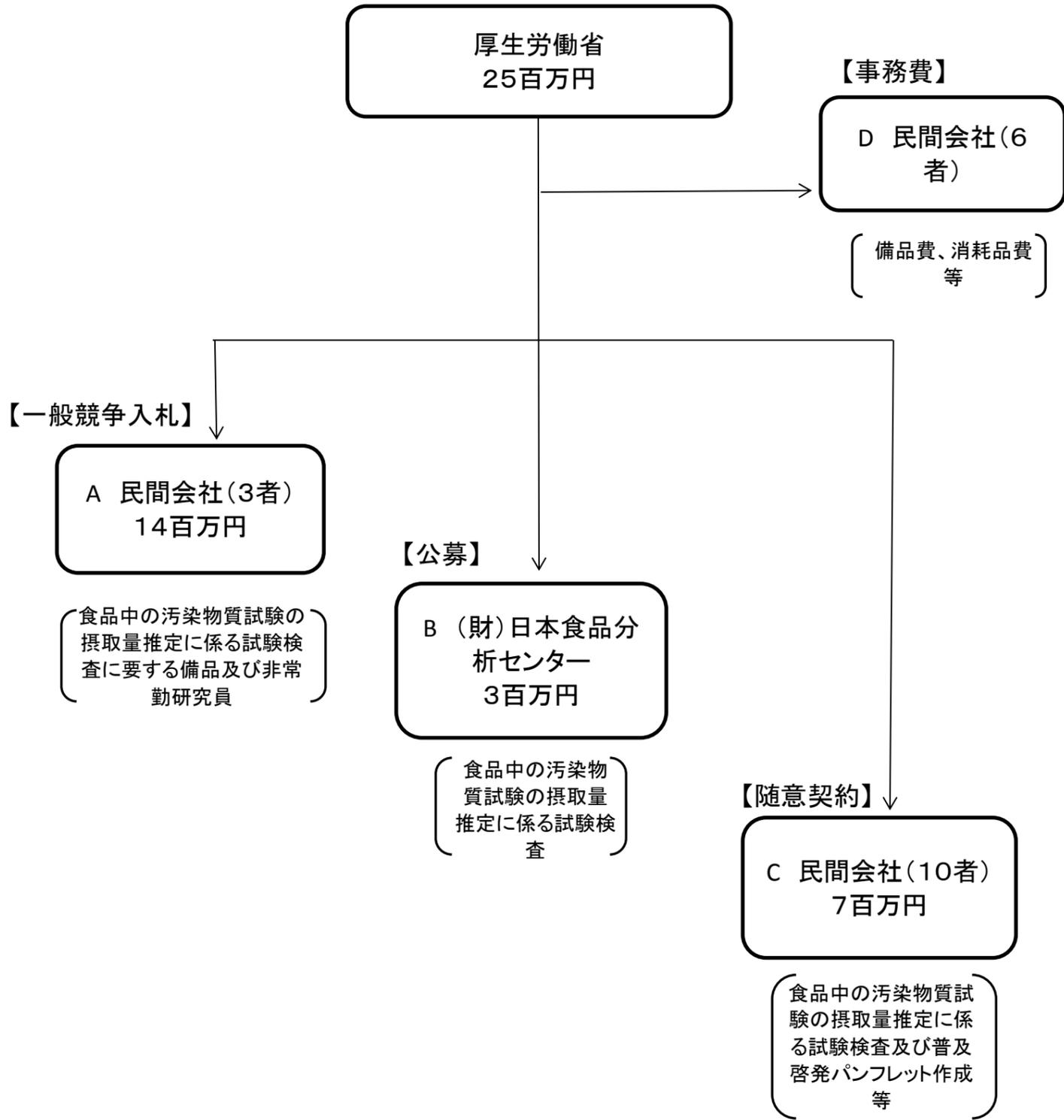


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	食品汚染物質の安全性検証推進事業		担当部局庁	食品安全部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成16年度		担当課室	基準審査課		森口 裕		
会計区分	一般会計		施策名	IV-4-1				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	食品衛生法第11条		関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	食品中の汚染物質(ヒ素、カドミウム等)における精密な暴露状況を把握し、個人によって摂取頻度の異なることに着目した安全性を検証し、今後のリスク低減のための方策(摂食指導、基準値の設定及び見直し)を講じる際の基礎データを得ることにより食品の安全性を確保する							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	個人によって摂取頻度の異なる食品について、一定期間内の摂取実態調査を実施し、精密な汚染物質の暴露量を推定する。また、食品中の汚染物質(ヒ素、カドミウム等の重金属)は通常的环境中に広く存在していることから、広範囲の食品について、汚染物質の含有濃度実態調査を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算の状況	当初予算	37	29	28	51	162	
		補正予算						
		繰越し等						
		計	37	29	28	51	162	
		執行額	37	36	25			
	執行率(%)	99.8	125.8	89.7				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)
	食品からの汚染物質の精密な暴露量の推定を踏まえ、新たな規格基準の整備などを行うものであるため、定量的な指標を設定することは困難。		成果実績	—	—	—	—	—
			達成度	%	—	—	—	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	規格基準等の設定(3件)		活動実績 (当初見込み)		1	—	3	—
						(—)	(—)	
コーデックス委員会等の国際会議へのデータ提供(1件) 食品安全委員会への評価資料としての提供(1件) 薬事・食品衛生審議会へのデータ提供(2件)		活動実績 (当初見込み)		3	4	4	—	
					(—)	(—)		
単位当たりコスト	約3(百万円/件)		算出根拠	○平成22年度 執行額(パンフ作成経費除く)÷(活動実績+成果実績) 25,251千円 - 1,203千円 ÷ (3+4) ≒ 3(百万円/件)				
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.1	0.5	「東日本大震災復興関連事業」:食品中の放射性物質対策の新規要求による増左のうち0.4				
	職員旅費	0.0	1.4	1.4				
	委員等旅費	0.1	1.2	1.2				
	庁費	0.0	0.1	0.1				
	食品等試験検査費	51	159	109				
計	51	162	111					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	—
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	-	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	—
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	-	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	—
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>本事業によって得られたデータは、規制対象物質に対し規格基準を設定するにあたり重要なデータとなるため、コーデックス委員会等の国際会議及び薬事・食品衛生審議会の審議において公表される事が前提となっており、適正な内容を得るよう努めているところであり、調査データに基づいて広く一般国民に対し汚染物質の含有濃度が高い食品について摂食頻度を下げるよう指導する等の活用をしている。</p> <p>なお、調査対象となる汚染物質の選定については、当該支出年度時点において最も費用対効果の高い物質となるよう、最新の科学的知見及び従前の本調査結果を踏まえつつ検討しており、調査の実施にあたっては、内閣府や農林水産省等の他省庁と連携し、費用面での無駄を省きつつ総体として精度の高い調査結果が得られるよう努めているところである。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>食品中の汚染物質の含有濃度実態調査等に必要な経費であるが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
—			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・用途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と用途の双方で実情が分かるように記載)

A. サーマフィッシャーサイエンティフィック(株)			E.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
備品費	食品中の汚染物質の摂取量推定に係る試験検査に要する赤外分光イメージング装置一式	9	—	—	—
計		9	計		0
B. (財)日本食品分析センター			F.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
雑役務費	食品中の汚染物質の摂取量推定に係る試験検査	3	—	—	—
計		3	計		0
C. 片山化学工業(株)			G.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
備品費	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する冷却遠心機一式	2	—	—	—
計		2	計		0
D. 尾崎理化(株)			H.		
費目	用途	金額 (百万円)	費目	用途	金額 (百万円)
備品費	実験用椅子他11点	0.4	—	—	—
計		0.4	計		0

支出先上位10者リスト

A.一般競争入札

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	サーモフィッシャーサイエンティフィック(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する備品費(赤外分光イメージング装置)	9	1	45.91%
2	(株)池田理化	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する備品費(多検体濃縮装置)	3	2	98.01%
3	アドバンテック(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する研究員派遣業務	2	1	73.57%

B.公募

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本食品分析センター	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査	3	1	100.0%

C.随意契約

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	片山化学工業(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する冷却遠心機一式	2	随意契約	
2	オリエンタル技研工業	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する超音波洗浄機	1	随意契約	
3	(株)太陽美術	食品中の汚染物質試験に係る啓発パンフレット印刷3件	1	随意契約	
4	(株)池田理化	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要するホモジナイザー	0.8	随意契約	
5	(株)バイオテック・ラボ	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する質量分析装置修理	0.4	随意契約	
6	尾崎理化(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する消耗品15点	0.3	随意契約	
7	尾崎理化(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する消耗品4点	0.3	随意契約	
8	システムインストルメンツ(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する窒素ガス発生装置調整業務	0.3	随意契約	
9	片山化学工業(株)	食品中の汚染物質試験の摂取量推定に係る試験検査に要する器具乾燥機一式	0.3	随意契約	
10	協新流通デベロッパー(株)	パンフレット梱包発送業務	0.2	随意契約	

D.事務費

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	尾崎理化(株)	実験用椅子他備品11点	0.4	随意契約	
2	(株)伊藤サプライ	ノートPC1点購入	0.2	随意契約	
3	門倉テクノ(株)	試験室電源装置動作試験	0.1	随意契約	
4	アカデミア洋書(株)	外国書籍3点購入	0.05	随意契約	
5	尾崎理化(株)	椅子他備品11点購入	0.04	随意契約	
6	(株)カラサワ	事務用消耗品購入	0.03	随意契約	
7	アカデミア洋書(株)	外国書籍1点購入	0.02	随意契約	
8	アカデミア洋書(株)	外国書籍1点購入	0.02	随意契約	
9	(株)ナカビン	書籍6点購入	0.02	随意契約	
10	(株)伊藤サプライ	事務用消耗品購入	0.01	随意契約	